

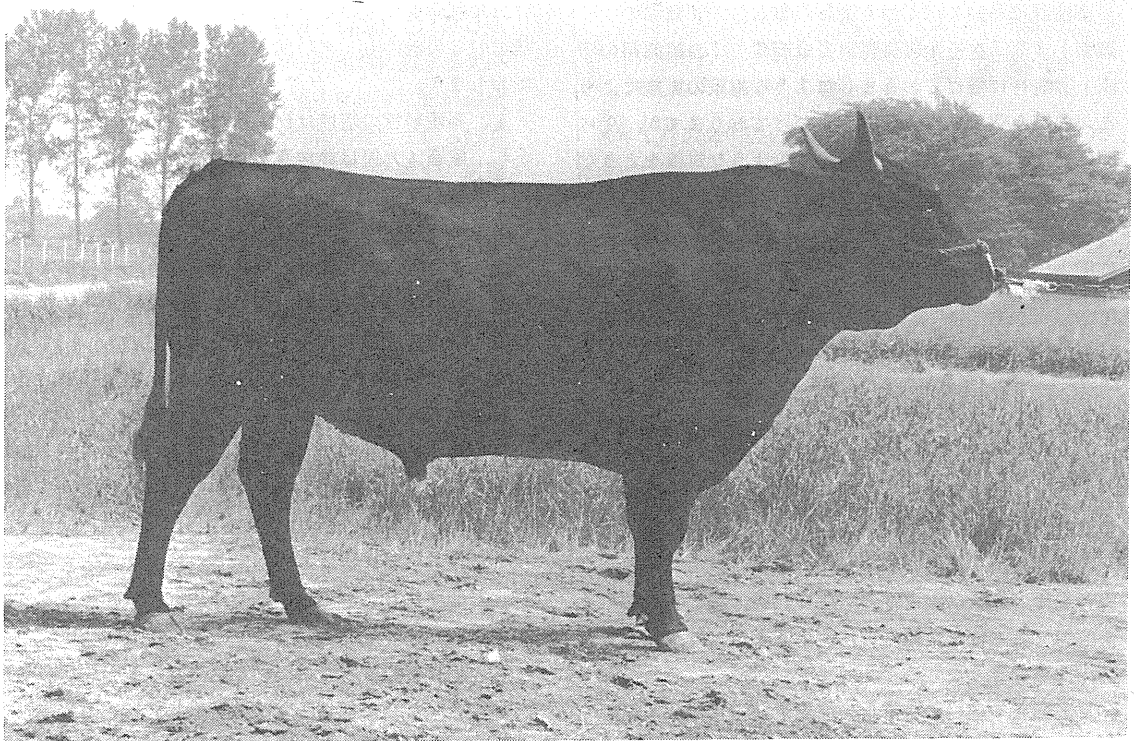
題字
宮城県知事山本 壯一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

社団法人宮城県畜産会
電話 (61-2111)

編集発行人 大石 武一
定価 1部20円

印刷所 K K東北プリント



日本一と誇る 茂重波号

(黒毛和種・47. 4. 15生兵庫県産)

— 宮城県畜産試験場繋養 —

も く じ

畜産の現状および振興対策…………… 2
 肉牛の緊急対策について…………… 3
 百井英一氏藍綬褒章を受章…………… 5
 催しものゝご案内…………… 5
 肉畜・鶏卵の生産出荷動向について…………… 5
 畜産開発公社の業務のご案内…………… 6
 畜産関係制度資金の貸付内容が一部
 改正になりました…………… 7
 新案・家畜用自動定期給餌器…………… 8
 昭和49年度畜産コンサルタント事業
 の概要と実施計画…………… 9
 人の動き…………… 10

畜産の現状および振興対策

宮城県畜産課長 春日 博

最近の畜産をとりまく情勢は、配合飼料価格の高騰、肉牛価格の低迷、卵の生産調整等と、極めてきびしい条件下にあります。

畜産課においては差当り緊急対策として「鶏卵の生産調整」「第三次畜産経営特別資金制度」「自給飼料の増産」等前号に掲げておきましたような施策の実施により、この危機を突破すべく努力をつづけておりますが、更に関係皆様のご協力を得ながら、次のような対策をとりながら、解決に努力して参らなければなりません。

さて本県における本年2月1日現在の家畜飼養頭数は、乳用牛、39,000頭で昨年より10%程度減少しておりますが、肉用牛は70,100頭で18%、豚251,000頭で8%、採卵鶏2,558千羽で9%と前年に比べそれぞれ増加しています。

ブロイラーは1,046千羽です。

一方飼養農家戸数は何れの家畜でも減少しておりますが、1～2頭を飼育する戸数の割合の多いことは変わりありません。

多頭飼育は戸数において必ずしも多くはありませんが、飼育規模の拡大は年々進み、牛で10頭、豚で100頭以上を飼育するものの全頭羽数に占める割合はほぼ30%で、この比重は高くなりつつあります。

又多頭化や農村の都市化の進展、公害に対する規制の強化もあって、畜産に起因する環境汚染がとりあげられ一部問題になっているものがあります。

畜産物の消費は鶏卵のみ横這いで推移していますが、肉類、牛乳乳製品は増加をつづけ、国における需給見通しにおいてもなお増加を見込んでおり、これに対応する生産供給体制の確立も又急務として要請されている現状

であります。

これらの情勢をふまえ、本県畜産の振興策をすすめるにあたっては、緑豊かな県土の保全と生産環境と調和のとれた畜産を推進しなければならないので、次のような基本的な姿勢のもとに、健全な畜産の発展をはかる計画であります。

1. 畜産経営の規模は経営農用地と畜産が常に調和し、家畜ふん尿は農地還元を前提とし、草地飼料畑等の専有可能なものについては自立的経営を、又水田や畑作に合せたものは中規模複合的経営として育成するとともに、繁殖と肥育を行なう一貫経営も併せて推進するが、環境を汚染するおそれのある企業的大規模畜産は抑制する方向で進みたい。

2. 自給飼料の増産運動を展開し、公共放牧場、既設草地には家畜ふん尿を施用して生産量を高め、稲ワラ資源の積極的活用、貯蔵利用のための施設を整備しながら自給度の向上をはかって、乳用牛、肉用繁殖牛の増加をはかりたい。

牧草、飼料作物は3割増産を目標とするとともに、畜産開発公社等における乾牧草の緊急生産事業を実施させたい。

3. 配合飼料にたよっている豚、鶏、肥育牛等については、飼料の供給と畜産物の需給関係とを勘案して、当分の間現況を維持しながら、経営の健全化をはかるため、配合飼料の給与の改善をすすめる。

例えば制限給餌や、ねずみの駆除等給与の合理化運動により損耗の防止と、バラタンクの増設により飼料費の負担を幾分でも軽減させたい。

4. 環境汚染として問題とされている家畜ふん尿は、

畜産施設設計コンサルタント

〔KK〕 山本設計事務所

仙台市柏木3丁目2の28

TEL (0222) 33-6028

今日の活力！ 明日の健康！

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

農地還元を基本とし、ふん尿処理の堆肥舎、保管、運搬、散布等共等利用施設の整備はもとより、他作物への肥料としての利用により、土地生産力の向上をはかるため、無畜農家、畑作物農家などの利用者側の組織化を一日も早く進め、堆肥を無駄なく円滑に広く利用させ、増産と汚染防止に役立たせたい。

5. 県畜産試験場の施設を早急に整備して、優良種畜の生産配布に併せ、家畜や草地飼料に関する実用的試験研究の開発と、家畜改良を促進するための検定事業の充実、更には近年とみに不足している畜産後継者づくりの一環として長期、短期の実習、研修生の教育にあたるとともに、県営牧場においては、放牧部門の技術開発と肉牛の産肉能力検定を実施する。

6. 多頭数飼育の増加や、海外との交流等、複雑化悪性化していく伝染性疾病や、公害防除に対応するため家畜保健衛生所の診断施設等の整備につとめる、一方家畜畜産物衛生指導協会の充実により、従来の予防事業に加えて巡回指導や情報の蒐集にあたり、予防技術の伝達を速やかにして、損耗を防止し、生産性の向上をはかりたい。

7. 畜産物については消費者の意識が年々高まっているので、良品の生産を確保しなければならないので、公営の規格格付事業の拡充をはかる一方、家畜市場、食肉処理施設の整備を促進し、衛生的な生産により新鮮な食品の供給に併せ、消費拡大、生産と消費直結の方式等を推進する計画をすすめたい。

8. 最近のように特に激動し変化の多い情勢に対応するため、「畜産事業調整協議会」を県や市町村に設置して、地域における環境保全対策や、鶏卵をはじめとする畜産物の需給調整、広域きゅう肥利用など地域に対応した畜産経営の育成に助言するため、

従来の畜産振興協議会を拡充或は、専門的に分化するなど強化、改組して対応させたい。

以上のような基本的な対策を、従来の施策に併せ推進して参りたいと存じます。

牛肉の緊急対策について

県畜産課

本年1月以降牛肉の枝肉価格は、乳用雄牛肉を中心に大巾に急落したので国においては2月末畜産振興事業団による輸入牛肉1万トンの調整保管と輸入枠4万トンの凍結を行い、更に生産者団体による国産牛肉の調整保管を実施してきたが、しかしながら一般物価上昇による家計費の節約等により牛肉消費は減退し需給関係は大きくゆるんでいる。このため特に乳用雄牛肉価格の低迷が続く生産者は大巾な赤字経営を余儀なくされており、このままでは肥育牛経営の安定継続が困難な状態になっているので、今回国は当面の緊急措置として次の対策を講ずることとなった。

1. 牛肉調整保管の拡充

枝肉市況の回復を図るため全農等の生産者団体による調整保管を第1次として3月25日から約2ヶ月間に亘って6,000頭実施し、更に第2次として6月13日から2ヶ月の予定で10,000頭に拡充し保管を継続する。

2. 輸入牛肉の需給調整の強化

49年度牛肉の輸入割当は価格が回復するまでは行わない(本年9月頃まで)とともに畜産振興事業団が6月以降買入れ売渡しを行う輸入牛肉の受渡しの延期と民間在庫の売渡しについても市況を圧迫しないよう協力を要請することとしている。

3. 国産牛肉の消費促進



NEP

純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL(0222)(92)6371

中新田GPセンター

TEL(022296)(3)3714

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事 設計・施工

ポンプ工事

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222)(93)2461

6月5日から6月末日までの間全国的に生産者団体及び食肉販売業者団体による牛肉の消費宣伝と大衆向け(乳雄)牛肉の安売り等牛肉の消費拡大運動を展開する。なお本県においてはこれにもとづいて経済連等の生産者団体と食肉業者団体、デパート、スーパーの協力を得て期間中に県産牛肉の安売りと消費宣伝を実施した。

4. 肥育経営安定措置

肉用牛肥育経営の安定的継続を図るため次の対策を講ずる。

1) 肉用牛肥育経営維持継続資金融通助成事業

この事業は肉牛(去)を出荷した飼養者が引続きその飼養を維持継続するのに必要な肥育素牛を導入する場合に低利資金を融通する融資機関(農協、農協連、指定する銀行)に対し、利子補給を行うことを目的として、県域団体に設けられる基金を通じて国及び県が助成することにより肥育経営の維持安定に資することを趣旨としている。

その内容は下記のとおりである。

(1) 貸付対象者

49年6月1日~11月30日までの間に肥育牛(去)を出荷し、引き続き肥育用素牛を導入する個人、農事組合法人、農協、農協連及び農業を主たる業務とする法人(合名、合資、有限会社、民法第34条の法人)とする。

(2) 対象牛

(1)の対象者が飼養する肉用専用種(去)、乳用雄牛で49年6月1日~49年11月30日までの期間に出荷した頭数の範囲内で後継肥育素牛を導入し概ね8ヶ月以上飼養して出荷する素牛とする。

(3) 貸付条件

(ア) 乳用雄牛は1頭当り10万円以内、肉専用種(去)にあつては20万円以内を乗じて得た額の範囲内であつ

て1人800万円以下の額とする。

なお農事組合法人は肥育牛飼養に常時従事する者の数に800万円を乗じた額の範囲内で1飼養者当たり800万円以下の額とする。

(イ) 貸付利率は基準金利9分以下とし、5分の利子捕給を行なつて末端利率を4分以下とする。

(ロ) 償還期限は15ヶ月以内とし、支払い方法は一時払いとする。

(ハ) 借入れ申込は49年11月30日までに各融資機関で行ない、貸付けは49年12月31日までに行うものとする。

なお貸入資金は肥育素牛代のはかに飼料、機械器具等の購入費に使用するが、農協等にあつては肥育素牛の購入費に限られている。

2) 肉用牛肥育経営債務等実態調査

この調査は牛枝肉価格の低落等に対応して現に延滞債務を有する等借入金の返済に支障をきたしている肥育牛経営者に対し低利な借替資金融通を行うことにより、肥育経営の維持安定を図ることを目的として債務等の実態を早急に調査するものである。

(1) 調査対象者

現に延滞債務等により飼養規模の縮小又は飼養の廃止を迫られている等の事情にあり、その軽減措置の適用を希望する肥育おす牛6頭以上を飼養する個人、農事組合法人及び農業を主たる業とする法人とする。

なお5頭以下の飼養者であっても、その軽減措置の適用が特に必要と認められるものはこれを対象とすることができる。

(2) 調査事項

過去1年間(48年6月1日~49年5月31日)の家畜の飼養状況、長期資金等借入状況及び借替状況等を個別実態調査表により実施する。

(3) 調査実施時期

調査は市町村、農協担当職員の協力を得て、調査表

飼い上手 育て上手は……

みのたに……で



動物薬品・獣医器具総代理店

K. K 美濃谷



本店 山形市蔵王成沢
TEL 山形 (0236) (88) 3121
仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂 5-216
TEL 仙台 (0222) (45) 4306
鶴岡店 鶴岡市本町一丁目 8-3
TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

こくておいしい大型びん……

森永
ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町4番3号 TEL(代) 23-9101

により行ない、家畜保健衛生所及び農業改良普及所職員が確認する方法で概ね7月15日までに終了し、市町村集計表、県集計表にとりまとめ7月20日までに農林省に報告する。なおこの調査対象者の延滞債務等が施策の対象となる見込みである。(肉畜係)



百井英一氏藍綬褒章を受章

百井英一氏(県畜産会副会長、県畜産農協連合会副会長、県農協中央会理事、県肉用牛協会会長、亙理郡畜産農協組合長、逢隈農協組合長)には昭和49年5月22日多年に亘り畜産振興に尽力された功績が認められ藍綬褒章授与の栄誉を受けられた。

催しもののご案内

催しの名称	主催	とき	ところ	内容
東北、北海道和牛研究会	全国和牛登録協会	8月20日~23日	小牛田市場	研究対象牛40頭
遠田地区肥育牛共励会	県畜連	8月24日	〃	出場頭数 120頭
宮城県ホルスタイン育成牛共進会	県ホルスタイン改良同志会	9月上旬	未定	
宮城県種豚共励会	県指定種豚場協議会	9月中旬	小牛田市場	出品頭数約60頭
仙北地区肥育牛共励会	県畜連	9月24日	古川家畜市場	出品頭数 170頭
昭和49年度日本臨床獣医学会(小動物、宮城)、第10全国合同小動物臨床研究会仙台大会	日本獣医師会	9月14日~15日	仙台市民会館	参加人員 1,000名

肉畜・鶏卵の生産出荷動向について

県畜産課

近年における高度経済成長、食生活の改善向上に伴い食肉需要は急激に増加し、食肉全体において昭和40年以降年平均12.4%と高い伸長率を示しており、この需給動向に即応し、かつ、価格変動に対応した計画的生産出荷が必要とされるので、「肉畜、鶏卵生産出荷調整指導事

業」調査結果の全国速報版にもとづく畜種別生産出荷動向をお知らせします。

1. 肉牛

出荷見通しの、7~9月の対前年同月比は、肉専用種が86%、乳用おす肥育牛は106%である。

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL0277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL0214581
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL0346221

フランス生れのソフトヨーグルト!
雪印ヨーグル



雪印乳業株式会社
東北事業部 仙台支店
仙台工場

なお、輸入牛肉については、国産牛枝肉価格の下落から昭和48年度下期の4万トン、畜産振興事業団保管の1万トン、計5万トンを凍結し、引続き昭和49年度分も当分の間凍結されることとなる。

2. 肉豚

種付頭数、分娩めす頭数、子豚生産頭数が、昨年秋から本年に亘り横ばい、または減少の傾向にあり、従って肉豚出荷についても対前年同月比で、8月-106%、9月-107%、10月-100%、11月-101%、12月-98%と減少する見通しである。

3. ブロイラー

1戸当りの飼養羽数が増加しており、規模拡大の傾向にあったものの、価格が低迷している関係もあって、出荷羽数では昭和48年は対前年比10%前後の伸長率であったものが昭和49年は1月の109%を頂点として以後減少しており、今後の予想値としては対前年同月比では5%前後の出荷が見込まれる。

4. 鶏卵

昭和47年から国の方針により、鶏卵生産調整を行っており、本年4月からは増羽を抑制する等、卵価安定策が講じられている関係もあって、対前年比の生産量見通しでは前年生産量を下廻っており、前年同月比では、7月-98%、8月-97%、9月-97%、10月-95%、11月-97%の出荷見通しである。(肉畜係)

流通の低迷等のため畜産経営がきびしい情勢に直面しており、県においても各般の振興施策が講ぜられておりますことはご承知の通りであります。

当会社としても今こそ公社設立の趣旨に則って草地飼料基盤の造成をはじめ、各般の関連事業を意欲的に実施し農家経営の安定と本県畜産業の健全な発展に寄与いたしたく、ここに公社業務の概要をご紹介申し上げ関係機関、団体及農家皆様の一層のお引立てとご利用をお願いする次第です。

公社のしくみ

当会社は昭和42年、宮城県及び市町村、農協連合会等を構成員とする社団法人(理事長県知事、事務所、仙台市本町三丁目6番16号、TEL22-8139)として設立され仙南、仙北事業所を開設して有能な技術者及び性能の高い重機械(ブルドーザー、トラクター等)を配置して草地飼料畑及び農用地造成、更には牧場建設等地域のご希望に即応して工事が実施できる体制をとっています。

更に黒川郡大郷町に公社直営の大型肉用牛牧場を開設し、市町村に対し優良仔牛の生産配布を行っています。

事業のあらまし

当会社は県及び市町村、農業団体等と緊密な連絡、調整をはかりつゝ地域畜産(農業)振興のため次の事業を積極的に実施しております。

(1) 草地飼料基盤及び農用地の造成

酪農、肉用牛振興のため飼料自給度の向上が緊要でありますので県の補助事業をはじめ地全協補助、制度資金等による市町村、農協等の事業を当会社(仙南、仙北事業所)の有能な技能陣を重機械を動員して調査、設計一工事施行一完成まで責任を持って受託実施しております。

草地(農用地)造成に関する道路、開畑、山成工、敷地造成をはじめ牧柵、飲料用水、畜舎建物等の施設も同時に受託しております。

公社設立以来毎年草地造成等大風500ヘクタールの受

畜産開発公社の業務ご案内

＝利用者の立場にたつて
良心的な工事を実施で実行＝
宮城県畜産開発公社

はじめに
配合飼料価格の高騰、畜産公害への対応、畜産物消費

ARワクチン

(豚ポルデテラ感染症予防液)

北研の豚用製剤

新発売

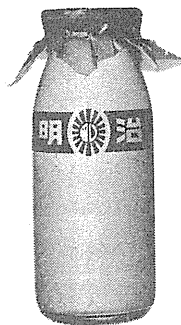
販売・山形市城西町2丁目3-2

北里薬品産業株式会社

文献謹呈

東北出張所

TEL山形(0236)(24)0111



いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

託実績をあげ、受益者から好評を拍しております。

(2) 農業公社牧場(建売牧場)の建設

酪農、肉用牛経営の中核となる高能率経営の育成を目的として、48年度から当社が事業主体となって実施しており49年度も県の計画をうけて該当市町村、団体、参加農家のご協力を得ながら当社が継続実施いたします。

(3) 畜産公害対策

町ぐるみ畜産公害防止と経営規模拡大による畜産主産地の造成をはかるため、県の補助事業によって県営及び団体営畜産経営環境整備事業(飼養基盤、施設用地の造成及び道路をはじめ家畜排泄物処理施設、機械の設置等)が実施されるので当社も下記の通り事業を実施いたします。

- 県営 { 事業実施 南郷町、桃生町 } 事業主体は
 { 調査計画 涌谷町 } 社
- 団体営 { 継続 (瀬森町) 豊里町……受託事業
 新規 丸森町(予定)

(4) 肉用牛直営牧場の運営

黒川郡大郷町に開設した当牧場(規模270ヘクタール繁殖めす牛300頭)は48年度において牧場生産の兵庫、熊本直系の優良仔牛107頭と市町村からのお申入れに広えて24農協に配布いたしました。

肉用牛資源の維持培養が緊要な段階であり、当牧場も県をはじめ市町村、農協等の一層のご協力を得て49年度には牧場の運営に工夫を重ね肉用牛大規模牧場として、会員各位のご期待に副うよう一層努力して参ります。

当牧場は松島、県民の森を結ぶ仙台近郊のドライブレインでありますのでお出かけの節はぜひ牧場にもお立ち寄り下さるようお待ちしております。

(5) 県営白石牧場の業務受託(乳用牛の飼養管理及び草地肥培管理)

(6) 飼料資源の生産供給

自給飼料対策の一環として県の方針に則り公共放牧場等から委託をうけヘイキャラバンシステムにより良質乾牧草の調整供給ならびに、稲わらの有効利用促進等についても併せて行なう予定です。

(7) 食肉関連

食肉流通対策が緊要でありますので、県の計画に基づいて農協共販の肉豚、肉牛を主体に当社が担当する関連事業について検討。

おわりに

以上の事業(工事)は何れも県の施策と表裏一体となって実施しておりますので工事の相談、お申込みお問合せ等は当社の事務所及び仙北、仙南事業所にお名軽にご連絡下さるようお願いいたします。

なお平素から県の関係出先機関(農林事務所、家畜保健衛生所、農業改良普及所、土地改良事務所等)及び市町村、農協にも特別のお世話をいただいておりますので最寄りの出先機関にご連絡いただいても結構です。

当社は利用者の立場にたって実費で良心的な工事を実施しておりますので「何んな工事でもお気軽にご相談下さい」。(常務理事)

“畜産関係制度資金の貸付内容が一部改正になりました”

〈総合施設資金・畜産経営環境保全資金〉

宮城県畜産課

生産性の高い自立経営農家を育成するための大型資金である総合施設資金や、畜産公害防止のための畜産経営環境保全資金の貸付内容が49年度より次のように改正に

なりましたのでお知らせいたします。

1. 総合施設資金

- (1) 貸付対象の拡大

酪農経営に画期的な新鋭機登場



稲わら飼料調製機 <Asser>

株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ
サイボクグループ



(株)サイボク
東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢TEL(高清水)2141

従来融資対象中、家畜の導入については、搾乳牛、繁殖用肉用牛、繁殖豚の購入であったものが、今回の改正により家畜の購入となり、繁殖用家畜のほか肉用素畜（肥育牛・肥育豚）、鶏（採卵用ひな、ブロイラー素ひな）の購入も融資されることになりました。

なお融資の条件としては、災害等真に己むを得ない場合のほかは飼育規模拡大に伴う増加頭羽数の購入分が対象で次の基準以上に限られています。

肥育牛 5頭、肥育豚 50頭、鶏 2,000羽

ただし、採卵用ひなについては、鶏卵生産調整の関係で成鶏めす3,000羽以上の飼育者の規模拡大分については融資の対象とはなりません。

② 貸付限度額の増額

従来の貸付限度額の5割アップとなり、次のとおり

個人 1,200万円（特認 3,600万円）

法人 3,000万円（特認 13,500万円）

③ 農地等取得資金、未墾地取得資金と総合施設資金の併用借入

従来総合施設資金と他の公庫資金の同時借入れは出来なかったが、今回の改正により農地等取得資金、未墾地取得資金（以下土地取得資金という。）に限り総合施設資金と併用借入ができるようになりました。

① 併用借入基準

土地取得に必要な資金は、200万円以上、または総事業費の20%以上であることが条件ですが、これらより下廻る場合は総合施設資金扱いとなります。

② 併用借入における土地取得資金の貸付限度額

未墾地取得資金、農地等取得資金の単独借入れの場合の3倍の限度額となり次のとおり。

農地等取得資金……個人 600万円

離農跡地一括取得 1,000万円

法人 2,400万円

未墾地取得資金……個人 300万円

法人 1,200万円

10戸以上法人 3,600万円

なお土地取得資金のそれぞれの限度額を超える部分については、総合施設資金の貸付扱いができません

③ 総合施設資金と土地取得資金の合計貸付限度額
総合施設資金の限度額の範囲内となります。

2. 畜産経営環境保全資金

融資率は、従来8割であったものが、改正により特認として新たに9割融資が追加されました。

特認要件としては、次のいずれかに該当する場合です。

① 高性能の環境保全施設の導入

② 環境保全のための畜舎の移転

なお畜舎建設費用の融資については、移転型（移転跡地では家畜飼養を廃止することが条件）のみ該当しますが、居すわり型の場合は糞尿処理施設のみ対象となることは、従来どおりです。（酪農係）

新案、家畜用自動定時給餌器

飼料の節約と省力管理を - 県の春日畜産課長が考案した「春日式」肉牛、肉豚肥育用自動定時給餌器（特許出願中）の試作品が、鹿島台町農協直営の肉用牛直営肉用牛肥育センター（400頭）に設置試用されておりましたが、なかなかの好評を得第2作を近く県試産試験場にも設置試用されることになっております。

この給餌器は、一定時刻一定時間に飼料を採食させる目的で、飼料投入口（槽は7～10日分貯留）と採食口にフタを取り付け、タイムスイッチの作動で採食口のフタを自動開閉する仕組み。フタの開閉時にはそれぞれチャイムが鳴り、条件反射を利用して家畜に合図し、さらにフタの開閉状態を管理室で監視するもの。この給餌器の利用により濃厚飼料は15%前後節約されると共に、衛生的、省力的給餌が可能であり従来のいわゆる開放の不断給餌器の欠点を補っています。

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

畜産の薬品・器機

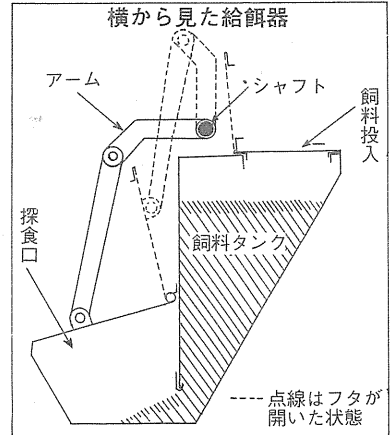
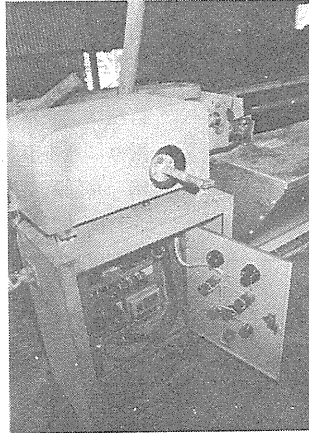
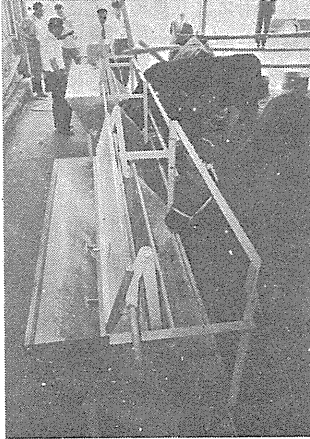
何でも揃ふ専門店

仙台市上杉三丁目3-8
東北獣医薬品株式会社

TEL (05) 7338

支店 登米郡迫町佐沼下田中
TEL 迫(2)2278

支店 山形市小白川町4丁目
TEL 山形(3)9909



昭和49年度畜産コンサルタント事業の概要と実施計画

宮城県畜産会

畜産コンサルタント事業については、既にご承知のとおり多頭羽飼養による生産性の高い畜産経営の健全な発展を助長し、農業生産性の向上と農業所得の増大を期することを目的として昭和39年度より事業が実施されておりますが、本年度事業については去る6月15日開催の畜産コンサルタント事業促進対策協議会において承認を得ましたのでその概要と実施計画についてご紹介いたします。

1. 事業の概要

本事業は大別して個々の農家を対象とした一般診断指導事業、集団（グループ）を対象とした中核農家群の育成事業、共同体を対象とした共同利用施設診断事業の3事業に分れております。

これら各事業とも診断希望の申込に応じ診断を実施することになっております。

申込のあった経営体に対し、各専門家の方々によって構成される畜産コンサルタント団（常勤2、非常勤46、補3）によって総合的な診断分析に当り、問題点の抽出改善計画の樹立等助言指導を行ない農家経営の安定合理化を図ることになっておりますが、以下各事業について申し述べます。

2. 一般診断指導事業

(イ) 新規診断

畜産農家並びに市町村、農協等からの申込により個々経営を対象としてその経営に必要な飼養、飼料生産技術および経営技術について診断班を派遣具体的な助言指導を実施します。

本年度の診断事例数は46例（酪農、養豚各18、肉用牛、養鶏各10）で、その実施地区は次のとおりです。

(ロ) アフターケア（再診断）

前年度に新規診断した事例に対し事後指導に当り、前年度指摘した問題点、改善対策等について指導を行なう事業ですが、本年度は23事例（酪農、養豚、養鶏各6、肉用牛5）実施致します。

昭和49年度畜産コンサルタント事業実施予定市町村

畜種	新規コンサルテーション		アフターケア	
	事例数	実施予定市町村	事例数	実施予定市町村
酪農	13	丸森町, 泉市, 宮崎町, 岩出山町, 涌谷町, 北上町, 鳴瀬町, 牡鹿町, 気仙沼市, 山元町, 志津川町, 東和町, 志波姫町	6	中田町, 米山町, 鳴瀬町, 大衡村, 河南町, 一迫町
		大河原町, 岩沼市, 村田町, 三本木町, 鹿島台町, 小牛田町, 南郷町, 色麻村, 桃生町, 中田町		柴田町, 大衡村, 若柳町, 金成町, 矢本町,
養豚	13	桃生町, 岩出山町, 古川市, 宮城町, 若柳町, 栗駒町, 矢本町, 石巻市, 牡鹿町, 河南町, 南方町, 北上町, 松山町	6	白石市, 柴田町, 田尻町, 小牛田町, 河北町, 河南町
		村田町, 川崎町, 名取市, 秋保町, 田尻町, 古川市, 金成町, 本吉町, 志津川町, 鹿島台町		亘理町, 宮城町, 古川市, 小牛田町, 河北町, 志津川町
計	46		23	

(ハ) 畜産技術改良中核農家群の育成事業

先進的な畜産技術を保有する農業者を中核農家として指定し、畜産コンサルタント団による濃密指導を随時実施するとともに、中核農家を中心とする畜産技術

研究グループの組織化および活動について指導を行ない生産性の向上に結びつけた畜産技術の普及浸透を図る事業です。

指導期間は2ヶ年間で本年度が新規指定年度に当り酪農、養鶏各4、養豚6、肉用牛6計20戸を中核農家として指定しております。

昭和49年度畜産技術改良中核農業者指定名簿

畜種	住 所	氏 名
酪農	蔵王町円田字荻の窪 24	小島 伊三
"	宮城町芋沢字青の木 222 の 2	飯田 栄
"	中新田町種式目	相沢 辰雄
"	本吉町平櫓 76	佐藤 一郎
肉用牛	松山町千石字松山 376	菅野 辰夫
"	岩出山町池月字賜目日影 81	山口 一雄
"	鳴子町鬼首字久瀬	佐藤 道久
"	若柳町川南字下大目	阿部 一夫
"	迫町森赤沼	海野 春雄
養豚	柴田町入間田字三本木	岡崎 静夫
"	岩沼市押分奥山 1	伊藤 正雄
"	松山町長尾字前 85	今野 光広
"	鳴子町大口径字通原 178	小川 肇
"	栗駒町尾松	佐々木文雄
"	米山町	石堂 利倍
養鶏	小牛田町北浦	佐々木守夫
"	志津川町字大上坊	阿部 新
"	本吉町大谷	佐藤 茂夫
"	宮城町芋沢字青の木	金子 徳平

(二) 特別診断指導事業

畜産経営の大型化と制度資金(総合施設資金等)の効率的利用を推進するため、市町村、農協等の要請に

応じ、大型の制度資金の利用により規模の拡大を志向する農家等を対象に、経営計画の策定とこれに対する資金利用計画、規模拡大のための経営技術等について畜産コンサルタント団による総合的な診断分析と助言指導に当る事業ですが、本年度は4事例実施します。

(※) 共同利用施設等診断指導事業

共同利用草地、共同育すう施設、仔豚供給施設等共同利用施設における飼養管理、運営管理並びに利用方法に関する事項について、畜産コンサルタント団による総合的な診断分析並びに具体的な助言指導を随時実施する事業ですが、本年度は次の5事例(施設)を対象に事業を実施します。

昭和49年度共同利用施設診断予定施設

区 分	住 所	事業主体
養豚	角田市	角田市農協
"	高清水町	高清水養豚組合
肉用牛	古川市	古川市農協
"	色麻村	平沢肉用牛生産組合
草地	宮城町	宮城町瑞穂酪農組合

以上畜産コンサルタント事業の概要並びに実施計画について申し述べましたが、現況の畜産状況は飼料高の価格安と非常に厳しい現況にありますが、本会では本事業を通して畜産経営の安定合理化に努める所存ですので何卒よろしくご協力、ご指導賜りたくお願い申し上げます。

人の動き

新	旧	氏 名
県経済連		(49.6.1付)
畜産部付審査役	飼料課長	小野寺 君 男
飼料課長	飼料課審査役	及川 賢 司
畜産課付審査役	エーコープ宮城出向	菅原 良 雄
仙台中央食肉卸売市場(株)	畜産課	若生 三津雄
設立事務局出向		
飼料課審査役	仙南食鳥販売所長	半 沢 祐
仙台中央食肉販売所調査役	岩沼食肉販売所長兼岩沼出張所	三 春 芳 男
岩沼食肉販売所長兼岩沼出張所	古川食肉販売所長兼古川支所	今 野 勇 一
古川食肉販売所長兼古川支所	吉岡出張所	高 橋 昭 郎
仙台支所	仙台中央食肉販売所	高 橋 勇
吉岡出張所	仙台支所	高 橋 文 衛
大河原支所	岩沼出張所	佐 藤 昌 念
県農業共済連		(49.7.1付)
連合会診療課長	家畜事故審査担当(仙南地区)	穴 戸 亮
古川家畜診療所長	古川家畜診療所次長	岩 瀬 昭 二
同 次長	古川家畜診療所	高 橋 勝 行
迫家畜診療所	白石 "	大 場 英 企
白石 "	迫 "	氏 家 賢 一
古川家畜診療所嘱託	古川家畜診療所長	佐 藤 重 喜
畜産連合会		(49.7.1付)
仙北支部次長	業務課指導係長	今 野 建 亮
業務課指導係長	仙北支部次長	高 橋 亮